

様式3-2 記入見本

売上高方式

申請店舗の売上高等記入・計算書

・下の枠内から、算出方法を1つ選択(✓)し、令和元年又は2年の売上高を選び記入後、様式1に協力金申請額を転記してください。

ご注意: 記入見本のため、全ての欄に記入していますが、実際の記入では、選択(✓)した欄内の該当する箇所のみ記入してください。

・税抜金額が不明の場合は『税込の売上高÷(1.00+税率)』で税抜売上高を計算しても構いません。(期間中の1日当りの売上高が税込83,333円以下の場合、税抜処理は不要です。)

選択した期間の売上高を税抜きで記入ください。

原則確定申告や経理帳簿の根拠資料と金額が一致するようにしてください。

構いません)も合わせて添付してください。

記入できない場合は、最少額(1日当り25,000円)となります。

8月と9月の売上高から算出する方法(原則として、確定申告書類に毎月の売上高の記載がある場合に選択)

チェック <input checked="" type="checkbox"/> R1年 <input checked="" type="checkbox"/> R2年	申請店舗の8月の売上高(31日間) 税抜 4,000,000 円	+	申請店舗の9月の売上高(30日間) 税抜 3,000,000 円	=	申請店舗の8月と9月を合算した売上高(61日間) 税抜 ① 7,000,000 円	1日当りの支給決定額(千円未満切上げ: 下限2.5万円・上限7.5万円)
	① 7,000,000 円	÷	61 日	×	0.3	=
1日当りの支給決定額 ② 35,000 円	×	協力した日数(様式3-1から転記) 11 日	=	協力金支給申請額(下限の場合27.5万円※) 385,000 円	→	様式1 申請金額 に転記

1年間の売上高から算出する方法(原則として、確定申告書類に毎月の売上高の記載が無い場合に選択が可能)

・いずれか1つを選び「✓」を入れてください。  
※記入見本のため全てに「✓」を入れています。

申請金額算出基となった年度に「✓」を入れてください。

申請店舗の年間の売上高 税抜 ③ 15,000,000 円	前年又は前々年の年間の合計額を税抜で記載してください。(法人は事業年度によって期間が異なります。) 令和2年2月29日を含む場合は366日を記入ください。		
③ 15,000,000 円	年間日数(366又は365日間) 365	1日当りの支給決定額(千円未満切上げ: 下限2.5万円・上限7.5万円)	
④ 25,000 円	④ 15,000,000 円 ÷ 365 × 0.3 = 12,329 円 → ④ 25,000 円		
1日当りの支給決定額 ④ 25,000 円	協力した日数(様式3-1から転記) 11 日	=	
	協力金支給申請額(下限の場合27.5万円※) 275,000 円	→	様式1 申請金額 に転記

時間短縮等を要請した期間と同時期の売上高から算出する方法(期間と同時期の売上帳簿がある場合のみ選択可)

チェック <input checked="" type="checkbox"/> R1年 <input checked="" type="checkbox"/> R2年	申請店舗の期間中の売上高 税抜 ⑤ 8,000,000 円	前年又は前々年の同期間(8/28~9/7)の合計額を税抜で記載してください。(各日の売上帳簿(写し)の添付が必須となります。) 令和元年あるいは令和2年8月28日~9月7日の帳簿から消費税を除いた売上高の合計額を記載してください。 休業日の売上高は0円としてください。	
⑤ 8,000,000 円	11 日	1日当りの支給決定額(千円未満切上げ: 下限2.5万円・上限7.5万円)	
⑥ 75,000 円	⑥ 8,000,000 円 ÷ 11 日 × 0.3 = 218,182 円 → ⑥ 75,000 円		
1日当りの支給決定額 ⑥ 75,000 円	協力した日数(様式3-1から転記) 11 日	=	
	協力金支給申請額(下限の場合27.5万円※) 825,000 円	→	様式1 申請金額 に転記